



1 2 同社は電子加工指示システムを開発、図面検索や作業管理などすべて端末で行う 3 ショールームには暮らしを便利にする製品の数々が 4 同社の強みを語る追田社長 5 さっと引き出せる体重計収納ケース 6 和傘メーカーとコラボした畳めるバスケット 7 創業者 追田周蔵氏の経営理念「至誠一貫」は今も社風に息づく

造
**かわちながの
 ものづくり探訪**
Made in Kawachinagano
 20
 創

**新たな価値を創り
 未来に挑む企業**
 株式会社ダイドー

上原町にある株式会社ダイドーは昭和26年に堺市で設立、昭和47年に本市に移転し、今年で創業67年目を迎えます。当初、大手農業機械メーカーの部品供給を担ってきた同社は昭和50年代に住宅関連部材に参入、「今では住宅関連の売上が約8割にもなっています」と追田尚幸社長は力強く語ります。

「住」にまつわる製品を製造する同社は、屋根材やバルコニー、サイクルポートなどを開発・生産するハウジングパーツ事業のほか、建築現場から出る廃棄物を回収・再利用し、新たな製品を生み出すリサイクル事業、住宅機器や設備で上下左右など様々な動きで理想を形にするムービング事業を展開。中でもムービング事業はユニークな発想と工夫で家事を効率的に行える製品を開発。例えば「ハンドムーブ」という製品(写真右下)はキッチンキャビネットの収納部分が手元の高さまで軽い力で下りてくるといった不便さを解消し、スムーズに動く仕組みに数々の技術が活かされた製品で大手キッチンメーカーに納入されています。

「新しい製品のアイデアは従業員のほか、営業会議やお客様の声を実現したものです」と追田社長。同社では技術者が営業も行うため、顧客の声を直接聞くことができ、さらに迅速な対応も可能、それは同社の強みとなっています。

また、生産システムのIT化や内製化を進め、ペーパーレスを進め、

「ハンドムーブ」は下がりきった時に食器などに衝撃が伝わらないなど数々の工夫が

はじめとする業務の効率化、標準化、可視化に取り組み、他社でも使える汎用システムの構築を目指して、データ蓄積や汎用性の実証を行うなど新たなビジネスチャンスも模索しています。

「今後は少子高齢化や空き家対策など社会問題の解決に向け、企業として何ができるかを考え、事業につなげたい」と追田社長。不確実な時代でも喜ばれる製品づくりに全社一丸となつて挑むことで、同社から新たな価値が創造されます。



株式会社ダイドー

EVERY DAY NEW をテーマに新しい住空間と新商品を提供する企業。安全功労者内閣総理大臣表彰を受賞するなど安全な職場環境づくりでも高い評価を得ている。
 上原町250-2 ☎53-7201
<http://www.daydo.jp>



▲「ハンドムーブ」は下がりきった時に食器などに衝撃が伝わらないなど数々の工夫が